

第2回

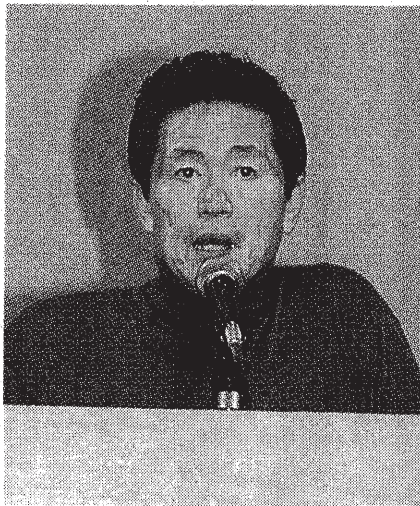
平成19年3月27日講演

を致誘設連国

さん太ホールで「おかやま適塾」 さえら 木谷社長が講演

自由闊達に岡山の今と未来を語り合う「第二回おかやま適塾」が二十七日、岡山市柳町、山陽新聞社さん太ホールで開かれた。アパレルメーカー・さえら(同市西市)の木谷忠義社長が「岡山の誇り

と自信」と題して講演し、約六十人が聴き入った。木谷氏は「岡山県人は『がめつい』といわれ、他県の人から一歩引かれるが、偉大な先人を生んでいる」と指摘。犬養毅(号・木堂)、平沼騏一郎、橋本龍太郎の元首相三人や、実業家で社会事業家の大原孫三郎、元経団連会長土光敏夫、元全



熱弁を振るう木谷忠義社長

日空社長岡崎嘉平太各民らを、エピソードを交えて紹介した。その上で道州制の論議などに言及し、岡山を州都とする方策として「岡

山に環境に関する国連施設の誘致を」と力説。「教育県・岡山の素地を磨き、環境を良くする取り組みをしていけば岡山、日本の明るい将来につながる」と訴えた。

おかやま適塾は、産学官の幅広い分野から講師を招き、毎月第二、四火曜日に開催。次回(四月十日)はファジアーノ岡山スポーツクラブの木村正明社長が講演する。

(大立貴巳)